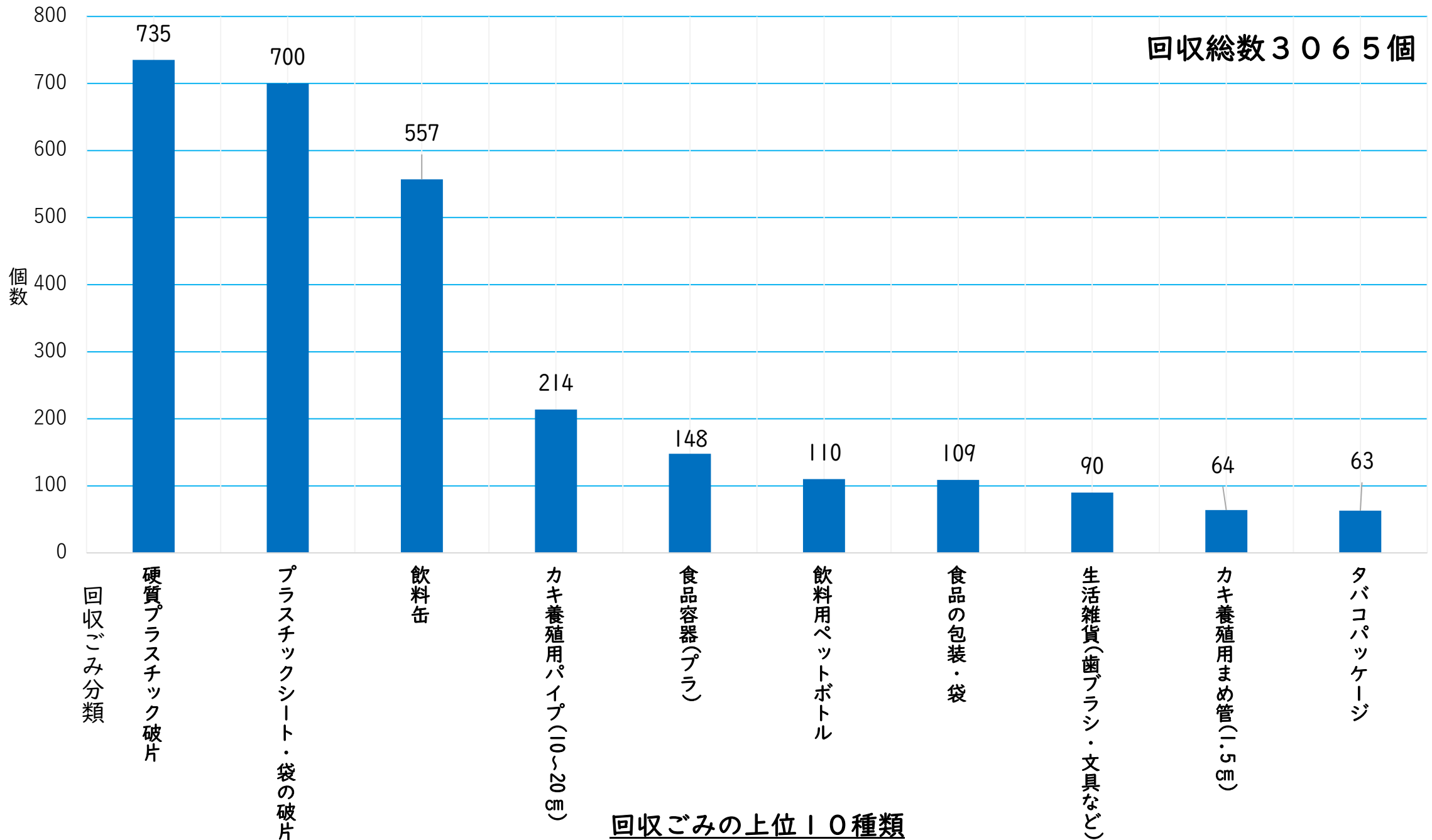


回収ごみ分析結果



回収したごみの写真(主なもの)

陸域由来

硬質プラスチック片735個



プラスチックシートや袋の破片700個



飲料缶557個(形有り154個)



原型のないものが約7割。長い時間海を漂い紫外線や波の影響を受けたものと推察される。

海域由来

カキ養殖パイプ214本(個)



釣り具(ルアー)7個

○まとめ

長浜海水浴場を会場とし、砂浜に落ちているものを約40分間の活動で総重量120kg拾うことができました。

回収したものを分析してみると、陸域由来のごみが約9割となっており、河川を經由し流れ出ていることが推察されます。

また、陸域由来のもので最も多く回収されたのは、農業等で使用されるあぜ板となり、古くなったものが田んぼから河川を經由して流れ出ていると推察されます。その他、ポイ捨て等が原因と思われるものも多く落ちていました。

一方、海域由来のもので最も多く回収されたのは、カキの養殖パイプでした。

ビーチクリーンを実施することは、海洋ごみを少しでも削減し、海の生き物を守るだけでなく私たちの生活を守ることに繋がります。

今回のような活動は、周囲に広く啓発でき、ごみ拾いの輪が広がっていくことから継続して実施していきますので、今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

